



第16号 千町田

一年を振り返って

代表理事 山本耕一

一年を振り返ることは非常に重要だと思つ。なぜなら客観的に振り返り来年の更なる成長につなげることが出来るからです。

のタイミングを逸して人海戦術によつて対応しました。この事柄を謙虚に反省し次年度に活かせるよう最大限努力をしていきます。

今年中は晩生水稲の穂ばらみ期となる8月中旬から9月上旬頃にかけて平年より降水量が多く、高湿度、日照時間が少ない状態でした。この影響を受け登熟不良と島根県東部を中心にして発生した稲こうじ病の発生などで平年作収量を下回る結果となりました。大豆は収穫時期を迎えたが暖冬傾向で長雨が続き刈取りが進まず品質面への影響を受けそうです。

昨年度からの送り事項であった第5工区の利用権設定は地権者代表者の方々のご協力を得て約27haを農地中間管理機構へ申請しました。そして圃場整備終了に伴う換地清算業務で法務局登記された第1工区から第4工区についても11月に農地中間管理機構へ申請を終えることが出来ました。

不作は天候不順であったと言えれば済むかもしれないが一方で栽培技術および栽培管理不足も否めずコスト面で大きな影響を受けました。鉄コーティング処理による発芽不良、ヒエの繁茂、大豆圃場でのアメリカセンダングサの繁茂など除草作業

将来を見据えて組織改革を行い一年が経とうとしています。その任にあった責任者の方には大変ご苦労をお掛けしていますが米価は安値状態で推移し、2年先には水田直接支払交付金が終了など先行きは不透明な状態であることは間違いありません。これを打破する事業活動を展



開し農業経営をより一層強固にすることが必要不可欠であり魅力ある事業導入はおのずから地域活性と世代交代を円滑に結びつけるものと考えます。次世代にバトンを渡せるようにするのが現理事の責務であると認識し誠意取り組んでいます。来年の27年度通常総会(2月)では今後の事業展開について説明をさせていただきます。

最後に、一年間のきの郷の事業にご理解と多大なるご協力いただきました組合員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

安来市農林業祭

11月22日伯太庁舎駐車場にて安来市農林業祭が開催されました。きの郷も出店してとまと、なたね油、もち米を販売し例年通り米のすくい取りを行いました。

穏やかな小春日和となり3連休の中日ということで人出はますますでした。じゃんけんゲームや梨の皮むきなどいろんなゲームもあり盛り上がりしていました。きの郷のブースも米すくいを楽しむ人とまとなどを購入してくださる人で賑わいました。

いらっしやいませ

10月16日 能義小2年生 とまとハウス見学

11月11日 能義小3年生 とまとハウス見学

11月13日 農林水産省 大臣官房審議官 山口様

農地中間管理事業現地視察

11月20日 クボタシア(株) フォアス稼働状況調査





能義平野は冬景色

北風が吹く季節となりました。冬の使者「ハクチョウ」など冬鳥も姿を見せ始めました。
 麦、菜種の播種が終わり、かわいい芽を見せ、すくすくと育っています。麦は飯生側の5工区、菜種は利弘農道沿いの2工区です。来春への成長が楽しみです。
 大豆の刈取りは天気と相談しながら進め、畔塗、秋起こしなど来春に向けての準備も進んでいます。



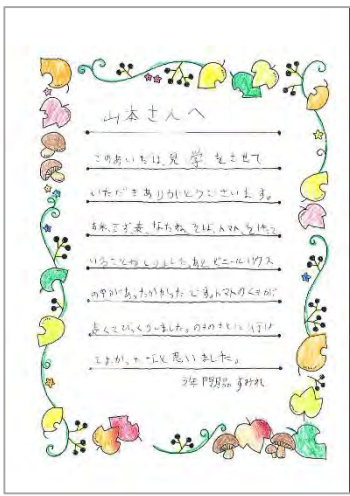
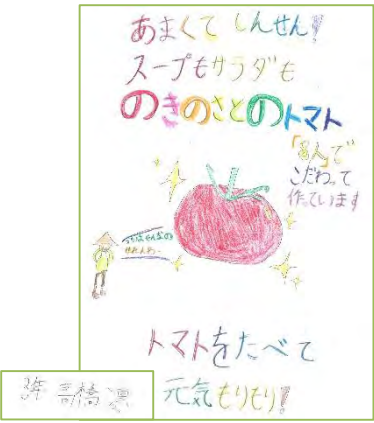
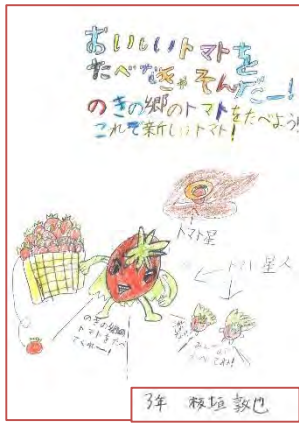
冬の早い菜種が花を咲かせています



青々とした麦田

能義小 2年生 3年生 とまとハウスを見学する

能義小学校から10月16日に2年生、11月11日には3年生の皆さんがトマトハウスの見学にやってきました。それぞれハウスの中を見学し、まと栽培についての説明を聞きまし
 た。
 2年生も3年生も熱心に話を聞き、質問したりしていました。3年生からはお手紙や絵が届いたので一部ご紹介しておきます。



お知らせ

☆確定申告の際に必要な平成26年分従事分量明細、平成27年分不動産所得明細は1月初旬発送予定です。
 ☆平成27年地代、賦課金の助成支払いは、12月末支払い予定です。

「ロメロ」冬季にかぼちゃ

冬至は一年のうち日照時間が一番短い日です。昔はこの時期にビタミンなどの供給源となる野菜が不足するため保存が効き栄養豊富なかぼちゃを食べ、元気に冬を越せるように願いを込めていたようです。また、ゆず湯は「湯治(とうじ)」の語呂合わせとか「融通(ゆず)」が利くようにという願いを込めたとの説があるようです。実際ゆず湯は血行を促進し冷え性や神経痛などを和らげる効果があります。

ちよっこし聞いて

能義郷土史の学校教育の中に「能義村一周の歌」というのがあります。能義地区の神社やお寺を一巡りし独松山や城山からの風景も歌っています。鳥瞰図も載っており「牛の森」「舎人の輪」「イヒモリ」など田の中に丘や塚の記述があり古い史跡があったことがうかがえます。
 圃場整備が終わり字名も消えてしまったため、それがごこのことなのかわからなくなってしまいましたがこの歌のことをご存知の方がいましたら教えてください。(や)